



高槻・五領の環境と
子どもの未来を

守る会 News

発行：高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会

特集：未来へのリスク その4 裏面

⑤ 電磁波携帯基地局 ⑥窒素酸化物 (NO₂) 第2回測定 12月

上牧遺跡 (上牧町に1800年前、古墳時代の集落跡) 説明会

新名神高速道路の建設事業により、その橋脚の下に失われる“上牧遺跡”の調査が、西日本高速道路(株)関西支社の委託で、公益財団法人大阪府文化財センターが実施しています。10月27日に現地において発掘状況の説明会が実施されました。当日は、400人もの人々が各地より上牧の地に押し寄せ、興味深く研究員の説明に聞き入り、発掘品の“管玉”や“土師器”に見っていました。

上牧遺跡は、既に関電淀川変電所の建設を契機に存在が確認され、昭和46、47年度に実施された発掘調査で“古墳時代初頭～前期”と“中世”の遺構・遺物が纏って確認され、調査担当者の橋本久和氏の功績で全国的にも著名な遺跡との事です。

今回の調査では、現在全体の約三分の一の面積に当たる部分が完了しており、これまでに古墳時代初頭～後期前半ごろ(3世紀後半～6世紀前半)までの長期間にわたって継続する集落の様子が明らかになってきました。今回は、竪穴建物13棟がまとまって見つかった工区及び、周溝墓が5基見つかった工区を対象に発掘調査現場が公開されとものです。3世紀後半とえば、かの卑弥呼の時代で、また、6世紀は聖徳太子の時代です。この地区は、この当時から淀川の河口に当たる、今でも続く交通の要路であったと思われます。

今回の発掘で、この調査地周辺は安定した微高地が広がり、確認された建物数は三島地区東部では最大で、上牧遺跡がこの地域の中でも有力な集落の一つであった事が判ってきたそうです。古墳時代の集落の景観や風景、当時の暮らしぶりを垣間見る事が出来る貴重な調査資料と言われています。また、地表30cmの非常に浅い位置から遺物が発掘されたのは予想外だったようです。

いずれにしても、この地区は、東側から、神内古墳群、源吾山遺跡、神内遺跡、梶原台場跡、梶原遺跡、梶原南遺跡、上牧遺跡、梶原瓦窯跡、梶原寺跡、梶原北遺跡、梶原西遺跡、梶原古墳群、萩之庄南遺跡、萩之庄瓦窯跡、萩之庄遺跡、萩之庄古墳群から安満古墳群へと続く遺跡群が隙間なく連なっている遺跡の宝庫です。

以上 一部 大阪府文化財センター資料より引用



携帯基地局の放射に関する世界最大の研究が発ガンとの関係性を確認

スマートフォンを含む「携帯」の体への影響については、これまでもいろいろと言われてきてはいたように思いますが、このたび、携帯の電波の人体への影響に関して、これまでで最大の研究がおこなわれ、その結果が報告されました。

イタリアの環境毒性や発ガン性についての毒性研究において著名な研究所と、アメリカ保健福祉省の公衆衛生プログラムによる研究(27億円の予算規模)の2つの研究報告により、

「携帯の基地局からの放射には、完全な発ガン性がある」ことが発表されたのです。しかも、脳や心臓の「特殊な腫瘍」と関係している可能性が強く示されています。

イタリアのラマツィーニ研究所(環境毒性と発癌リスクを特定する研究を行う非営利団体)による研究と、アメリカ政府の研究が、それぞれにおいてスマートフォンを含む携帯電話の放射による発ガン性に関する研究を報告し、それを受けて、科学者たちは、世界保健機構(WHO)国際がん研究機関(IARC)に、携帯電話の放射に関する発ガン性を再評価することを呼びかけた。

環境毒性の研究で著名なラマツィーニの研究者たちは、携帯基地局の環境レベルにさらされた実験動物による大規模な生涯研究(実験動物が自然死するまでのすべての経過を観察すること)の結果、携帯基地局レベルの放射はガンの発生を助長させると発表した。

米国国家毒性プログラム(NTP)も2500万ドル(27億円)の予算を投じて、同様の研究を行っており、その結果、携帯電話の無線周波数の高いレベルの放射を受けた雄ラットにおいて、心臓のシュワン細胞(末梢神経の構成細胞)由来の稀なガンが発見されたと報告した。

また、ラマツィーニ研究所による携帯基地局の放射においては、雌ラットでの悪性脳腫瘍(グリア細胞由来の腫瘍)の増加、および雄ラットおよび雌ラットの両方でシュワン細胞肥厚を含む前ガン状態の増加が見出された。

調査結果を報じたイタリアのメディアによる「基地局の放射は非常に稀な腫瘍を引き起こす」という見出しの記事で、ラマツィーニ研究所の代表者であるフィオレッタ・ベルポッジ(Fiorella Belpoggi)博士は、以下のように述べている。

「環境レベル(私たちの通常の生活の中での携帯の電波の放射と同じ程度という意味)の携帯の周波数に曝露されたラットのガン性腫瘍の所見は、携帯電話の放射に関する米国国家毒性プログラムの研究結果と一致しており、ラットの脳と心臓の同じタイプの腫瘍が、共に増加したことが報告されました」

これはWeb情報です。詳しくは、以下を参照。
[https://indeep.jp/worlds-largest-study-on-cell-tow](https://indeep.jp/worlds-largest-study-on-cell-tower-confirms-cancer-link/)

[er-confirms-cancer-link/](https://indeep.jp/worlds-largest-study-on-cell-tower-confirms-cancer-link/)

編集部：二酸化窒素、第1回は予想以上に有意義なデータを得ることが出来ました。第2回を12月6日18時から予定しています。



「守る会」定例会は、毎月、第4土曜日16:00~18:00、上牧公民館(上牧町本澄寺前)で開催しております。

連絡は、事務局村井(masa569@tcn.zaq.ne.jp)迄

第2回 NO2測定 12月6日

現在及び未来に向けて、五領地区における大気汚染の知見を得るために、NO2の簡易測定に取り組んでいます。1回目は6月に30カ所の測定を実施しました。

第1回測定結果の概要です。

- 名神高速付近9カ所平均 31.4 ppb
- 171号道路沿い9カ所平均 34.3 ppb
- 住宅地区15カ所平均 19.0 ppb
- 田園地区4カ所平均 15.0 ppb

第2回目を12月6日に実施します。

今回は、45か所を予定しています。

今後も、年2回ペースで継続する予定です。

当地区については、高槻市産業環境部環境保全課において、梶原地区(畑山神社横の公園)に「大気環境常時監視システム」を設置し、平成30年4月より測定を開始しています。設置理由は、「梶原地区については、新名神高速道路及び高槻東道路の供用開始にあたり、既存道路を含め幹線道路で四方を囲われ、大気環境の変化が予測される地区の為」とされています。

簡易測定は、難しいものではありません。参加者には詳細な結果も報告致します。

参加をご希望の方は「守る会」まで連絡して下さい。

高槻・地区の行事予定 抜粋

- ☆ 大阪府府議会議員選挙 H31年4月7日
- ☆ 高槻市市長選挙 H31年4月21日
- ☆ 高槻市市議会議員選挙 同上
- ☆ 高槻 防災訓練 H31年2月10日
- ☆ 子どもフェスタ 五領公民館 12月2日
- ☆ ホワイトコンサート 金光学園 12月23日

発行：高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会

代表：上田 博夫

住所：〒569-0003 大阪府高槻市上牧町1丁目3-17 上牧公民館内

電話番号：070-3300-7149

ホームページ：<https://takatsukigoryo-mamorukai.jimdo.com>